



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月10日

上場会社名 アルコニックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3036 URL https://www.alconix.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 手代木 洋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CSO (氏名) 鈴木 匠 TEL 03-3596-7400
コーポレート部門長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	146,827	12.2	5,424	27.2	5,356	19.7	3,574	27.6
2024年3月期第3四半期	130,846	△3.6	4,263	△41.2	4,476	△41.5	2,801	△45.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,209百万円 (△53.3%) 2024年3月期第3四半期 6,875百万円 (△18.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	118.37	—
2024年3月期第3四半期	93.01	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	200,053	67,834	33.6
2024年3月期	182,890	66,350	35.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 67,190百万円 2024年3月期 65,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	27.00	—	28.00	55.00
2025年3月期	—	32.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	5.8	7,200	31.8	7,200	32.2	4,500	181.6	148.85

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は2024年7月12日の取締役会において譲渡制限付株式報酬としての新株発行を決議し、同日に開示いたしました。2025年3月期における「1株当たり当期純利益」については、当該新株発行の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社坂本電機製作所
除外 1社 (社名) アルコニックス・東北化工株式会社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、[添付資料] 8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	31,070,000株	2024年3月期	31,042,900株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	837,501株	2024年3月期	905,007株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	30,193,311株	2024年3月期3Q	30,123,095株

(注) 当社は「株式給付信託 (BBT)」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」及び「従業員向け株式交付信託」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(その他の事項)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界規模の経済情勢では、中国国内経済の停滞とそれによって生じた中国国内余剰生産能力の輸出振り向け、期初から7月半ばまでの円安、9月末までの円高、12月末にかけて再度の円安が進行した為替相場の急激な変動などが当社グループの経営に影響を及ぼす要因となりました。

当社グループとして関与の深い業界、市場においては、AI関連の旺盛なデータセンター投資により半導体世界販売は好調を維持する一方で、日本メーカーの国内外乗用車生産台数は、中国市場での不振等の影響で4～11月実績で前年同期比6.5%の減少となり、アルミ圧延品国内出荷量と伸銅品国内生産量は、前年同期比増となる月と前年同期比減となる月が相前後するなど、好材料と悪材料が混在する状況でした。非鉄金属相場は、アルミ、銅、ニッケル共に5月に反転下落し、9月にやや持ち直しましたが、その後は安定的に推移したアルミと再び下落に転じた銅、ニッケルで展開が分かれ、期中平均価格ではアルミと銅が前年同期を上回り、ニッケルが前年同期を下回りました。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、アルミ原料や半導体製造装置関連取引の寄与などによりアルミ銅事業、装置材料事業、金属加工事業の3セグメントで前年同期比増、ニッケル市況下落の影響などを受けた電子機能材事業は前年同期比減となり、全体では前年同期比増となりました。同期間におけるセグメント利益は、堅調な需要に支えられたアルミ銅事業、装置材料事業、金属加工事業の3セグメントにおいて前年同期比増、電子機能材事業は売上高減少が影響して前年同期比微減となり、全体では前年同期比増となりました。

当第3四半期連結累計期間における主な経営成績は次のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比 増減額 (百万円)	前年同期比 増減率 (%)
売上高	130,846	146,827	15,981	12.2
営業利益	4,263	5,424	1,161	27.2
経常利益	4,476	5,356	880	19.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,801	3,574	773	27.6

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

		前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比 増減額 (百万円)	前年同期比 増減率 (%)
商社流通	売上高	25,269	25,158	△111	△0.4
	－電子機能材	セグメント利益	1,663	1,662	△0
商社流通	売上高	53,279	63,134	9,854	18.5
	－アルミ銅	セグメント利益	392	615	223
製造	売上高	31,675	34,742	3,066	9.7
	－装置材料	セグメント利益	453	732	279
製造	売上高	24,132	26,956	2,824	11.7
	－金属加工	セグメント利益	1,963	2,350	387

・商社流通－電子機能材事業

本セグメントの売上高は、ニッケル原料とレアアースの販売価格下落が主要因となり、前年同期比減となりました。本セグメントのセグメント利益は、売上高減少による影響をレアメタルスクラップ取引の収益増やニッケル原料取引の収益率改善が補いましたが、前年同期比微減となりました。

・商社流通－アルミ銅事業

本セグメントの売上高は、需要・市況共に堅調を維持したアルミ地金やアルミスクラップ取引などが寄与して前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、銅板条収益率改善などが追加要因となり前年同期比増となりました。

・製造—装置材料事業

本セグメントの売上高は、海外におけるメッキ材料、検査用消耗品などの販売が好調で前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、売上増要因に加えてカーボンブラシの収益率改善が寄与して前年同期比増となりました。

・製造—金属加工事業

本セグメントの売上高は、半導体製造装置関連加工品、二次電池用部品などの需要が堅調で前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、銅加工品の収益率改善も追加要因となり前年同期比増となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①財政状態

a. 流動資産

流動資産は147,971百万円であり、前連結会計年度末比15,421百万円の増加となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加3,635百万円、受取手形及び売掛金の増加6,538百万円、及び棚卸資産の増加3,532百万円であります。

b. 固定資産

固定資産は52,081百万円であり、前連結会計年度末比1,740百万円の増加となりました。主な内訳は、有形固定資産の増加3,761百万円、及び投資その他の資産の減少2,031百万円であります。

c. 流動負債

流動負債は106,698百万円であり、前連結会計年度末比17,004百万円の増加となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金の増加8,348百万円、及び短期借入金の増加8,115百万円であります。

d. 固定負債

固定負債は25,520百万円であり、前連結会計年度末比1,326百万円の減少となりました。主な内訳は、長期借入金の減少1,011百万円であります。

e. 純資産

純資産は67,834百万円であり、前連結会計年度末比1,484百万円の増加となりました。主な内訳は、利益剰余金の増加1,752百万円、為替換算調整勘定の増加388百万円、及びその他有価証券評価差額金の減少856百万円であります。

②経営成績

a. 売上高

アルミ銅セグメント、装置材料セグメント、金属加工セグメントの増収により、売上高は146,827百万円（前年同期比12.2%増加）となりました。

b. 売上総利益

アルミ銅セグメント、装置材料セグメント、金属加工セグメントの増益により、売上総利益は19,359百万円（前年同期比13.2%増加）となりました。

c. 販売費及び一般管理費

人件費の増加等により、販売費及び一般管理費は13,935百万円（前年同期比8.6%増加）となりました。

d. 営業利益

上記の結果、営業利益は5,424百万円（前年同期比27.2%増加）となりました。

e. 営業外収益、営業外費用

支払利息等により、営業外収支（営業外収益—営業外費用）は67百万円の支出超となりました（前年同期は212百万円の収入超）。

f. 経常利益

上記の結果、経常利益は5,356百万円（前年同期比19.7%増加）となりました。

g. 特別利益、特別損失

有価証券売却益等の特別利益583百万円計上する一方、事業構造改善費用等の特別損失272百万円を計上いたしました。

h. 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益5,666百万円から、法人税等2,066百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益26百万円を差引き、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,574百万円（前年同期比27.6%増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2024年5月15日の「2024年3月期決算短信[日本基準]（連結）」で公表いたしました通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,471	25,107
受取手形及び売掛金	51,361	57,900
電子記録債権	5,632	7,067
商品及び製品	40,679	43,564
仕掛品	4,756	4,806
原材料及び貯蔵品	3,787	4,384
その他	5,699	5,948
貸倒引当金	△838	△807
流動資産合計	132,549	147,971
固定資産		
有形固定資産	31,737	35,499
無形固定資産		
のれん	1,022	994
その他	2,065	2,104
無形固定資産合計	3,088	3,099
投資その他の資産		
投資有価証券	11,899	9,988
その他	4,857	4,812
貸倒引当金	△1,241	△1,318
投資その他の資産合計	15,515	13,483
固定資産合計	50,340	52,081
資産合計	182,890	200,053
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,542	44,891
電子記録債務	8,225	7,094
短期借入金	23,730	31,845
コマーシャル・ペーパー	6,994	6,993
1年内返済予定の長期借入金	6,148	5,648
未払法人税等	1,536	1,556
賞与引当金	1,381	1,007
株式給付引当金	—	43
役員株式給付引当金	—	59
事業構造改善引当金	57	88
その他	5,077	7,469
流動負債合計	89,693	106,698
固定負債		
社債	250	250
長期借入金	18,077	17,065
退職給付に係る負債	1,126	1,216
役員退職慰労引当金	331	334
役員株式給付引当金	169	—
事業構造改善引当金	630	683
長期未払金	1,603	1,721
その他	4,658	4,248
固定負債合計	26,846	25,520
負債合計	116,540	132,218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,830	5,851
資本剰余金	5,294	5,330
利益剰余金	44,332	46,085
自己株式	△1,154	△1,070
株主資本合計	54,304	56,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,784	2,928
繰延ヘッジ損益	△3	58
為替換算調整勘定	7,617	8,006
その他の包括利益累計額合計	11,398	10,993
新株予約権	46	45
非支配株主持分	601	598
純資産合計	66,350	67,834
負債純資産合計	182,890	200,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	130,846	146,827
売上原価	113,745	127,467
売上総利益	17,101	19,359
販売費及び一般管理費	12,837	13,935
営業利益	4,263	5,424
営業外収益		
受取利息	115	116
受取配当金	619	539
為替差益	13	—
その他	451	312
営業外収益合計	1,200	967
営業外費用		
支払利息	861	721
為替差損	—	31
その他	126	282
営業外費用合計	988	1,035
経常利益	4,476	5,356
特別利益		
固定資産売却益	23	25
投資有価証券売却益	413	398
子会社清算益	—	128
その他	38	31
特別利益合計	475	583
特別損失		
固定資産除却損	16	23
投資有価証券売却損	58	—
投資有価証券評価損	3	64
貸倒引当金繰入額	—	63
事業構造改善費用	—	107
その他	0	13
特別損失合計	79	272
税金等調整前四半期純利益	4,872	5,666
法人税等	2,014	2,066
四半期純利益	2,858	3,600
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,801	3,574

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,858	3,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,206	△856
繰延ヘッジ損益	△33	62
為替換算調整勘定	2,844	402
その他の包括利益合計	4,017	△391
四半期包括利益	6,875	3,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,783	3,168
非支配株主に係る四半期包括利益	92	40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	23,631	52,115	31,234	23,865	130,846
外部顧客に対する売上高	23,631	52,115	31,234	23,865	130,846
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,638	1,164	440	267	3,511
計	25,269	53,279	31,675	24,132	134,358
セグメント利益	1,663	392	453	1,963	4,472

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,472
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益計算書の経常利益	4,476

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	23,431	62,266	34,378	26,750	146,827
外部顧客に対する売上高	23,431	62,266	34,378	26,750	146,827
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,726	867	364	206	3,165
計	25,158	63,134	34,742	26,956	149,992
セグメント利益	1,662	615	732	2,350	5,361

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

中間連結会計期間において、株式会社坂本電機製作所の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「金属加工」のセグメント資産が、2,396百万円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,361
セグメント間取引消去	△5
四半期連結損益計算書の経常利益	5,356

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「金属加工」セグメントにおいて、固定資産の減損損失83百万円を計上しており、特別損失の事業構造改善費用に含めて表示しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「金属加工」セグメントにおいて、株式の取得により株式会社坂本電機製作所を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては211百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	3,295百万円	3,262百万円
のれんの償却額	253百万円	245百万円

(その他の事項)

(従業員向けインセンティブ・プラン)

当社は、2024年5月15日開催の取締役会決議に基づき、2024年6月4日より従業員向けインセンティブ・プラン（以下「本制度」という。）を導入しております。

(1)取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託（以下「本信託」という。）を設定し、本信託が当社普通株式（以下「当社株式」という。）の取得を行い、従業員のうち一定の要件を充足する者に対して付与されるポイントに基づき、本信託を通じて当社株式を交付する制度です（ただし、当該株式については当社と各従業員との間で譲渡制限契約を締結することにより退職までの譲渡制限を付すものとする。）。当該ポイントは、当社取締役会が定める株式交付規程に従って付与されるものであり、各従業員に交付される当社株式の数は、付与されるポイント数により定まります。

本信託による当社株式の取得資金は、全額当社が拠出するため、従業員の負担はありません。

(2)信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、195百万円、145千株であります。

(3)総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。